

JR上野駅×JR小樽駅 開業記念企画 ～レールがつなぐ「友好」と「絆」～ 「パンダの里帰り」イベントを開催！

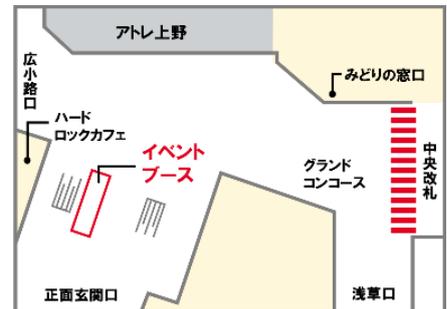
- 明治期の開業以来、上野駅140周年、小樽駅120周年という節目の年を迎えます。
- 1989年（平成元年）、上野駅と小樽駅は両駅の駅舎が似ていることや、青函トンネルの開業に伴い1本のレールで結ばれたことから、両駅の親交をより一層深めていくために姉妹駅として提携調印しました。開業後節目となる今年、両駅共同で記念イベントを開催します。
- 姉妹駅締結時に両駅の友好の象徴として上野駅から小樽駅に贈呈したパンダのぬいぐるみが、34年ぶりに上野駅へ里帰りします。
- 本イベントでは、両駅の駅長が、両駅の共通点や姉妹駅締結当時を振り返るトークセッションやフォトセッション、小樽観光PR等を実施します。

1. 日時

2023年11月1日（水）13:00～15:00（予定）

2. 場所

JR上野駅 中央改札外 グランドコンコース イベントブース



3. 内容

- 上野駅長と小樽駅長の「トークセッション」
- パンダのぬいぐるみの「里帰り」
1989年（平成元年）の姉妹駅提携調印時に、両駅の友好の象徴として上野駅から小樽駅へ贈呈したパンダのぬいぐるみが「里帰り」します。イベントでは小樽駅長から上野駅長へ「里帰り」としてこのぬいぐるみが手渡しされます。
- フォトセッション
「里帰り」のぬいぐるみを両駅長が持って記念撮影
- 小樽観光協会による小樽観光PRブースの設置



上野駅



34年前に贈呈した
パンダのぬいぐるみ



小樽駅

【姉妹駅締結】

1989年（平成元年）5月15日（月）小樽駅ホームで「上野駅・小樽駅 姉妹駅提携」調印式を開催



上野駅から小樽駅に贈呈したパンダが、
34年ぶりに「里帰り」します。

【上野駅の歴史】

- 1883年（明治16年）開業
- 1885年（明治18年）初代駅舎が竣工
- 1923年（大正12年）関東大震災にて初代駅舎が焼失。跡地に簡易駅舎を急造
- 1932年（昭和7年）3代目駅舎（現在の駅舎）が竣工
- 1989年（平成元年）小樽駅と姉妹駅締結
- 2020年（令和2年）新公園口駅舎、鉄道建築物として国内初の意匠登録が決定

【小樽駅の歴史】

- 1903年（明治36年）小樽中央駅として開業
稲穂駅に改称
- 1904年（明治37年）高島駅に改称
- 1905年（明治38年）中央小樽駅に改称
- 1911年（明治44年）2代目駅舎が竣工
- 1920年（大正9年）小樽駅に改称
- 1934年（昭和9年）3代目駅舎（現在の駅舎）が竣工
- 1989年（平成元年）上野駅と姉妹駅締結
- 2006年（平成18年）小樽駅本屋・プラットホームが国の登録有形文化財に指定